

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年11月29日 (2018.11.29)

【公開番号】特開2017-85418(P2017-85418A)

【公開日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2015-213324(P2015-213324)

【国際特許分類】

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

H 0 2 J 50/00 (2016.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 1 F 38/14 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 5/02

H 0 2 J 17/00 B

H 0 2 J 17/00 X

H 0 2 J 7/00 3 0 1 D

H 0 1 F 38/14

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月17日 (2018.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

整合部 2 0 2 は、受電アンテナ 2 0 1 と変復調部及び整流平滑部 2 0 3 とインピーダンスマッチングを行うための構成要素である。また、送電装置 1 0 0 の共振周波数 f と同じ周波数で受電アンテナ 2 0 1 が共振するための要素でもある。整合部 2 0 2 は、整合部 1 0 4 と同様にコンデンサ、コイル、可変コンデンサ、可変コイル及び抵抗等を有する。整合部 2 0 2 は、送電装置 1 0 0 の共振周波数 f と同じ周波数で受電アンテナ 2 0 1 が共振するように、可変コンデンサのキャパシタンスの値、可変コイルのインダクタンスの値及び可変抵抗のインピーダンスの値を制御する。また、整合部 2 0 2 は、受電アンテナ 2 0 1 によって受電される電力を整流平滑部 2 0 3 に供給する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

変復調部 2 0 4 は、ダイオードとコンデンサと抵抗によりダイオード検波部を構成し、整合部 2 0 2 から供給された電力の変化を電圧変化として包絡線検波し、C P U 2 0 5 へ送る。C P U 2 0 5 は整合部 2 0 2 からの包絡線検波信号を受信して、送電装置 1 0 0 からコマンドを送電装置 1 0 0 と予め決められた通信プロトコルに応じて解析し、送電装置 1 0 0 からのコマンドを理解する。変復調部 2 0 4 はまた、C P U 2 0 5 からの制御信号に応じて負荷変調を掛けることで、送電装置 1 0 0 から受信したコマンドに対する返答及び所定情報を、受電アンテナ 2 0 1 を通して送電装置 1 0 0 に送る。変復調部 2 0 4 に含まれる負荷が変化する場合、送電アンテナ 1 0 8 に流れる電流が変化する。これにより、

送電装置 100 は、送電アンテナ 108 に流れる電流の変化を検出することによって、受電装置 200 から送信されるコマンド、コマンドに対する返答及び所定の情報を受信する。